

奈良県の死亡野鳥で鳥インフルエンザ簡易検査陽性！

奈良県奈良市で発見された死亡野鳥（ハシブトカラス）2羽中1羽から、鳥インフルエンザウイルス簡易検査で陽性反応が確認されました。

現在、家さん農場では13道県25例の高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されていますので、引き続き、防鳥ネットの確認や鶏舎周囲の消毒等、防疫対策の徹底をよろしくお願ひします。

- 採取日：令和4年5月17日（火）
 - 採取場所：奈良県奈良市（半径3km圏内に山城管内100羽未満家さん飼養者5戸含む）
 - 検査材料：死亡野鳥（ハシブトカラス）
 - 検査結果：A型鳥インフルエンザウイルス簡易検査陽性
- *今後、鳥取大学にて高病原性鳥インフルエンザ確定検査を実施します。
- 現時点では、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された段階であるため、病原性は未確定であり、検査の結果、陰性となる可能性もあります。

飼養衛生管理基準を遵守してください！

- ◆ 鳥インフルエンザを疑う症状があれば直ちに当所に連絡
- ◆ 過去21日間の平均死亡率の2倍以上の死亡率を確認した際は通報
- ◆ 農場（周囲や鶏舎内外も含め）及び鶏舎入出時の消毒徹底
- ◆ 防鳥ネット等の破損箇所は補修し、野鳥・野生動物侵入防止を再徹底
- ◆ 関係者以外の農場への立入制限（特に海外渡航歴の確認）
- ◆ 家さんの飲用水の塩素消毒（または水道水を給与）の徹底
- ◆ ねずみ対策の徹底



大切な家さんを、
高病原性鳥インフルエンザから
守りましょう！！